

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ホストコンピュータと会員のコンピュータとが通信回線によって接続されており、前記ホストコンピュータ側で会員ごとに電子私書箱を付与し、会員のコンピュータから前記通信回線を介して前記電子私書箱にアクセス可能に形成され、前記電子私書箱を用いて会員にクーポンの発行を行うクーポン発行システムであって、

会員の属性情報を含む会員情報を記憶する会員情報記憶手段と、

クーポン発行内容及びそのクーポン発行の申込み候補者を選定するための申込み候補者選定条件を入力するクーポン発行情報入力手段と、

前記会員情報記憶手段に記憶された前記会員情報に基づいて、前記クーポン発行情報入力手段から入力された前記申込み候補者選定条件に適合する会員を選定する適合会員選定手段と、

前記適合会員選定手段により選定された会員の前記電子私書箱に、クーポン発行を案内するための案内情報をおく案内情報設置手段と、

前記電子私書箱の前記案内情報に基づいて、前記電子私書箱からクーポン発行の要求があったときに、クーポンを発行するクーポン発行手段とを備えることを特徴とするクーポン発行システム。

【請求項2】 請求項1に記載のクーポン発行システムにおいて、

前記クーポン発行情報入力手段は、前記クーポン発行内容及び前記申込み候補者選定条件を、外部から入力可能であることを特徴とするクーポン発行システム。

【請求項3】 請求項1又は請求項2に記載のクーポン発行システムにおいて、

前記クーポン発行手段は、申込み必要情報が入力されたときに、前記クーポンを発行することを特徴とするクーポン発行システム。

【請求項4】 請求項1から請求項3までのいずれか1項に記載のクーポン発行システムにおいて、前記案内情報設置手段は、クーポン残数を表示することを特徴とするクーポン発行システム。

【請求項5】 請求項1から請求項4までのいずれか1項に記載のクーポン発行システムにおいて、前記クーポン発行手段に要求されたクーポンの発行の状況を集計するクーポン発行状況集計手段を備えることを特徴とするクーポン発行システム。

【請求項6】 請求項5に記載のクーポン発行システムにおいて、前記クーポン発行状況集計手段により作成された集計結果を、所定のアクセスがあったときに開示する集計結果開示手段を備えることを特徴とするクーポン発行システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、通信回線を介してアクセス可能な電子私書箱を会員ごとに付与し、その電子私書箱を用いて会員にクーポンの発行を行うクーポン発行システムに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、クーポンの発行は、物理的なクーポンチケットを何らかの方法によって配布することが最も一般的に行われており、例えば、以下のような流れによって行われていた。ここで、クーポンとは、特定の施設などの使用を促すために、何らかの特典をつけた予約券、引換券などのチケットをいう。

企業は、新聞・雑誌広告などによって不特定多数の顧客に対して、クーポンを発行する旨の告知を行う。

顧客は、郵便、電話、FAXなどの情報インフラを利用して、クーポンの申込みを行う。

企業は、顧客のクーポン申込みを受け付ける。

企業は、顧客の申込みに基づいて、物理的なチケットを発行する。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、前述した従来の技術では、以下のような問題があった。

企業は、不特定多数の顧客に対して告知を行うため効率が悪い。

顧客は、告知を見てすぐに申込みを行うことができないために、申込みに手間がかかる。

企業は、顧客のクーポン申込みを受け付け、その申込みに基づいて、物理的なチケットを発行するために、効率が悪い。

企業は、利用日が指定されたクーポンについては、前もって配布しておく必要がある。

企業は、クーポンの告知から発行まで、工程がいくつかに分かれるために、作業が煩雑になり、管理に手間がかかる。

【0004】本発明の課題は、コンピュータネットワークを利用してクーポンの発行を行い、クーポン発行の申込みから発行までの処理を効率よく行なうことができるクーポン発行システムを提供することである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上述の課題を解決するために、請求項1の発明は、ホストコンピュータと会員のコンピュータとが通信回線によって接続されており、前記ホストコンピュータ側で会員ごとに電子私書箱を付与し、会員のコンピュータから前記通信回線を介して前記電子私書箱にアクセス可能に形成され、前記電子私書箱を用いて会員にクーポンの発行を行うクーポン発行システムであって、会員の属性情報を含む会員情報を記憶する会員情報記憶手段と、クーポン発行内容及びそのクーポン発行の申込み候補者を選定するための申込み候補者選定条件を入力するクーポン発行情報入力手段と、前記

## 3

会員情報記憶手段に記憶された前記会員情報に基づいて、前記クーポン発行情報入力手段から入力された前記申込み候補者選定条件に適合する会員を選定する適合会員選定手段と、前記適合会員選定手段により選定された会員の前記電子私書箱に、クーポン発行を案内するための案内情報をおく案内情報設置手段と、前記電子私書箱の前記案内情報に基づいて、前記電子私書箱からクーポン発行の要求があったときに、クーポンを発行するクーポン発行手段とを備えることを特徴とするクーポン発行システムである。

【0006】請求項2の発明は、請求項1に記載されたクーポン発行システムにおいて、前記クーポン発行情報入力手段は、前記クーポン発行内容及び前記申込み候補者選定条件を、外部から入力可能であることを特徴とするクーポン発行システムである。

【0007】請求項3の発明は、請求項1又は請求項2に記載のクーポン発行システムにおいて、前記クーポン発行手段は、申込み必要情報が入力されたときに、前記クーポンを発行することを特徴とするクーポン発行システムである。

【0008】請求項4の発明は、請求項1から請求項3までのいずれか1項に記載のクーポン発行システムにおいて、前記案内情報設置手段は、クーポン残数を表示することを特徴とするクーポン発行システムである。

【0009】請求項5の発明は、請求項1から請求項4までのいずれか1項に記載のクーポン発行システムにおいて、前記クーポン発行手段に要求されたクーポンの発行の状況を集計するクーポン発行状況集計手段を備えることを特徴とするクーポン発行システムである。

【0010】請求項6の発明は、請求項5に記載のクーポン発行システムにおいて、前記クーポン発行状況集計手段により作成された集計結果を、所定のアクセスがあったときに開示する集計結果開示手段を備えることを特徴とするクーポン発行システムである。

## 【0011】

【発明の実施の形態】以下、図面等を参照して、本発明の実施の形態について説明する。図1は、本発明によるクーポン発行システムの実施形態を説明するシステム構成図である。本発明のクーポン発行システムは、ホストコンピュータと会員のパソコンとが通信回線によって接続されており、ホストコンピュータ側で会員ごとに電子私書箱を付与し、会員のパソコンから通信回線を介して電子私書箱にアクセス可能に形成されており、この電子私書箱を用いて会員にクーポン発行を行うシステムである。

【0012】特に、本実施形態のクーポン発行システム10（以下、単に「システム10」という。）は、インターネット上で行うものであり、本件出願人により、既に出願された電子私書箱システム（特願平8-246482号）を用いる。

## 4

【0013】図1において、システム10は、会員に関する情報を記憶している会員DB（データベース）11を備えている。会員DB11に記憶されている情報としては、例えば会員の氏名、住所、生年月日、趣味等があげられる。システム10は、全ての会員に対して、電子私書箱12を与えている。電子私書箱12は、インターネット上でアクセス可能な会員個人のページである。

【0014】図2は、会員として登録を行うときに、その者の種々のデータを入力する画面を示す図である。この会員の登録は、パソコン画面を通じて行われる。図2に示すように、会員の登録時には、氏名、住所、電話番号、職業、勤務先、学歴、生年月日、性別、出生地、出生時間、血液型、嗜好、購読新聞や雑誌、家族構成、使用しているクレジットカード、メモリアルデー、又は好きなタレント等を入力する。そして、会員として登録されたときは、これらの情報が会員DB11に記憶され、その会員に電子私書箱12が与えられる。また、その会員に対して、その会員の電子私書箱12の所在地（記憶されている場所）であり、かつ、その会員の識別情報となるURLが報告される。会員は、このURLに基づいて、自己の電子私書箱12にアクセスすることができる。

【0015】図3は、電子私書箱12を画面表示したときの一実施形態を示す図である。システム10は、会員全員へのメッセージを、全ての会員の電子私書箱12のメッセージ欄12aに表示する。また、システム10は、会員の電子私書箱12に、その会員に適合する情報を表示するために、複数のプログラム（占いプログラムやダイレクトメールの選定プログラム等）を備えている。占いプログラムは、会員DB11に記憶された会員の生年月日、出生時間及び出生地等に基づいて、毎日、会員ごとの運勢を作成する。システム10は、その内容を電子私書箱12の運勢表示欄12cに表示する。

【0016】また、ダイレクトメールの選定プログラムは、企業から提示されたダイレクトメールの送信条件と、会員DB11に記憶された会員の趣味や嗜好等を含む情報とから、その企業のダイレクトメールの送信条件に適合する会員を選定する。システム10は、その選定した会員の電子私書箱12のDM欄12bに、ダイレクトメールをおく。ここでのダイレクトメールは、ある企業でその会員の趣味に合致したホームページを出している旨の表示である。例えば、ある企業で映画を紹介したホームページを有している場合には、映画を趣味として登録した会員に対してのみ、その企業のダイレクトメールをおくようにする。

【0017】システム10は、会員からURLによって電子私書箱12へのアクセスがあったときは、そのURLに対応する電子私書箱12の参照を許可する。これにより、会員は、自己の電子私書箱12を参照して、メッセージや運勢等を見ることができる。さらに、DM欄1

2bにダイレクトメールがおかれている場合に、その部分をクリックしたときは、そのダイレクトメールに対応するホームページに直接飛んでいくことができる。

【0018】さらに、システム10は、各会員の電子私書箱12に会員の属性情報に基づいておかれたダイレクトメールからホームページへのアクセス率を集計し、アクセス率が所定値以下であった場合には、会員DB11に記憶されているその会員の属性を変える属性情報変更手段をする。例えば、ある会員の趣味が「映画」として会員DB11に記憶されている場合には、その会員に対しては、映画を紹介したホームページを有する企業のダイレクトメールがおかれるが、10回のダイレクトメールのうち一度もホームページにアクセスがなかったときや、50回のダイレクトメールのうちアクセスが2回以下であった場合等には、その会員の趣味から「映画」を除くように会員DB11の内容を変更する。

【0019】また、会員は、電子私書箱12にアクセスしているときに、既に登録した登録内容の更新を行うことができる。図3において、「登録内容の更新」のアイコン12eをクリックすることによって、例えば図2で示した登録内容が表示され、会員は、これに基づいて登録内容を更新（訂正）することができる。更新された内容は、会員DB11に再登録される。これにより、会員の趣味等が変わったときでも、それを更新することが可能となる。

【0020】次に、本実施形態に係るクーポン発行の方法について説明する。図1において、管理センターのシステム10は、クーポン発行申込画面21によって、外部の企業（図1中、A社やB社）から送信（#301）されたクーポン発行の候補となる受信者の選定条件（例えば、性別、年齢層、地域、職業又は趣味等）や、クーポン情報（使用時期、内容、発行枚数など）を受信する（#101）。システム10は、このクーポン情報を、ホームページ上のクーポン情報掲載画面22（22A、22B等）に記載する（#102）。

【0021】システム10は、内蔵されたウェブクーポン用プログラムに基づいて、会員DB11に登録された会員の生年月日や趣味等（属性情報）の中から、#101の受信者選定条件に適合する受信者を選定し、その選定した会員の電子私書箱12のDM欄12b（図3参照）に、クーポンの発行がある旨のメッセージをおく（#103）。

【0022】そして、会員は、電子私書箱12のDM欄12bを見て（#201）、DM欄12bのメッセージをクリックする（#202）システム10は、メッセージがクリックされると、DM欄12bのメッセージとして表示されていたクーポンに関するクーポン情報掲載画面22（22A、22B等）にリンクする（#104）。

【0023】会員は、クーポン情報掲載画面22（22

A、22B等）の「30%引き」や「サービス期間」などのクーポン情報を読んで、欲しい場合には、さらに、クーポン申込画面23（23A、23B等）に進み、そのクーポン申込画面23（23A、23B等）に、氏名、住所などの申込み必要データを記入して（#203）、その情報をシステム10側に送信する（#204）。システム10は、その情報を受信して（#105）、会員側のパソコンにクーポンの出力を許可する（#106）。

10 【0024】会員は、申込必要データが記入されたクーポンを、手元のプリンタを用いてプリントアウトする（#205）。

【0025】システム10は、クーポンカウントプログラムに従って、クーポンの申込みがある度に、発行枚数及びクーポン残数を自動的にカウントし（#107）、クーポン情報掲載画面22（22A、22B等）上のクーポン残数を更新する（#108）。

20 【0026】また、システム10は、クーポン発行企業向けに、クーポン発行状況確認画面（各企業専用のクロズページなど）24に、クーポン発行状況を表示する（#109）。企業は、クーポン発行状況確認画面24によって、クーポン発行状況を確認することができる（#302）。

30 【0027】以上説明したように、本実施形態によれば、既存顧客（会員）に対して、パーソナルなクーポン情報の告知が可能となる。そして、会員は、クーポン情報掲載画面22から、クーポン申込画面23に簡易にリンクすることが可能となる。したがって、会員は、その場で簡単にクーポンの申込みが可能となる。一方、企業は、発行状況を即時に電子的に管理することが可能となる。このために、利用日の規定されたクーポンを直近に発行することが可能である。このように、企業側のクーポンの告知、発行から顧客側の申し込み、受け取りまでが一連の流れによって、即時にかつ効率的に行うことができる。なお、既存顧客（会員）以外に対しては、インターネット上のクーポン情報掲載ページなどのオープンな環境によって、クーポン情報を告知することが可能となる。

40 【0028】以上、本発明の一実施形態について説明したが、本発明は、上述した実施形態に限定されることなく、均等の範囲内で種々の変形が可能である。例えば、会員選定プログラム14は、会員DB11に記憶された会員情報に基づいて、クーポン発行の選定条件に適合する会員を選定したが、ここでの選定は、会員が最初に登録した情報に基づいて選定してもよく、あるいは、更新（訂正）された情報に基づいて選定してもよい。

50 【0029】また、前述の本実施形態では、電子私書箱からクーポン申し込み画面までの流れとして、電子私書箱12のDM欄12bに表示された、複数のクーポンの発行がある旨のメッセージの中から、その一つのメッセ

## 7

ージを選択すると、そのメッセージで予め指定されているリンク先のクーポン情報掲載画面22を開き、さらに、クーポン情報掲載画面22の申込みボタンを選択すると、そのボタンで予め指定されているリンク先のクーポン申込画面23を開くことを説明している。この方法によると、電子私書箱12から、電子私書箱12の使用者である会員を特定するための情報と実質的に関連のない情報で構成されている共通のページであるクーポン情報掲載画面22やクーポン申込画面23を開くので、クーポン申込画面23において、氏名、住所等の申込み必要データの記入(＃203)を会員に要求する必要がある。そこで、予め用意された共通のページであるクーポン情報掲載画面22やクーポン申込画面23を開くのではなく、電子私書箱12の会員がDM欄12bのメッセージを選択する度に、クーポン情報掲載画面22やクーポン申込画面23のURL中に、電子私書箱12のURLの会員を特定できる部分を維持しつつ、会員ごとに固有なクーポン情報掲載画面22やクーポン申込画面23を自動生成すれば、このURLに維持された会員特定情報を利用できるので、クーポン申込みの際の申込み必要データの記入(＃203)を会員に要求する必要がなくなり、クーポンの申込みを増やすことができる。

## 【0030】

【発明の効果】請求項1によれば、クーポン発行者(企業)にとっては、クーポン情報の告知、クーポンの発行が、また、クーポン利用者(顧客)にとっては、クーポンの申し込み、クーポンの受け取りが、インターネットなどのコンピュータネットワークを利用して、効率よく

## 8

行うことができる。請求項2の発明によれば、クーポンの申込み候補者選定条件を、外部から入力可能であるので、クーポンの直近な発行が可能である。請求項3の発明によれば、申込み必要情報が入力されたときに、クーポンを発行するので、申込み者の情報管理が容易となる。請求項4の発明によれば、クーポン残数を表示するので、発行情報を把握することができる。請求項5の発明によれば、クーポンの発行の状況を集計するので、電子的な管理が容易となる。請求項6の発明によれば、作成された集計結果を、所定のアクセスがあったときに開示するので、集計結果に基づいて、適切な対処が即時に行える。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるクーポン発行システムの一実施形態を説明する図である。

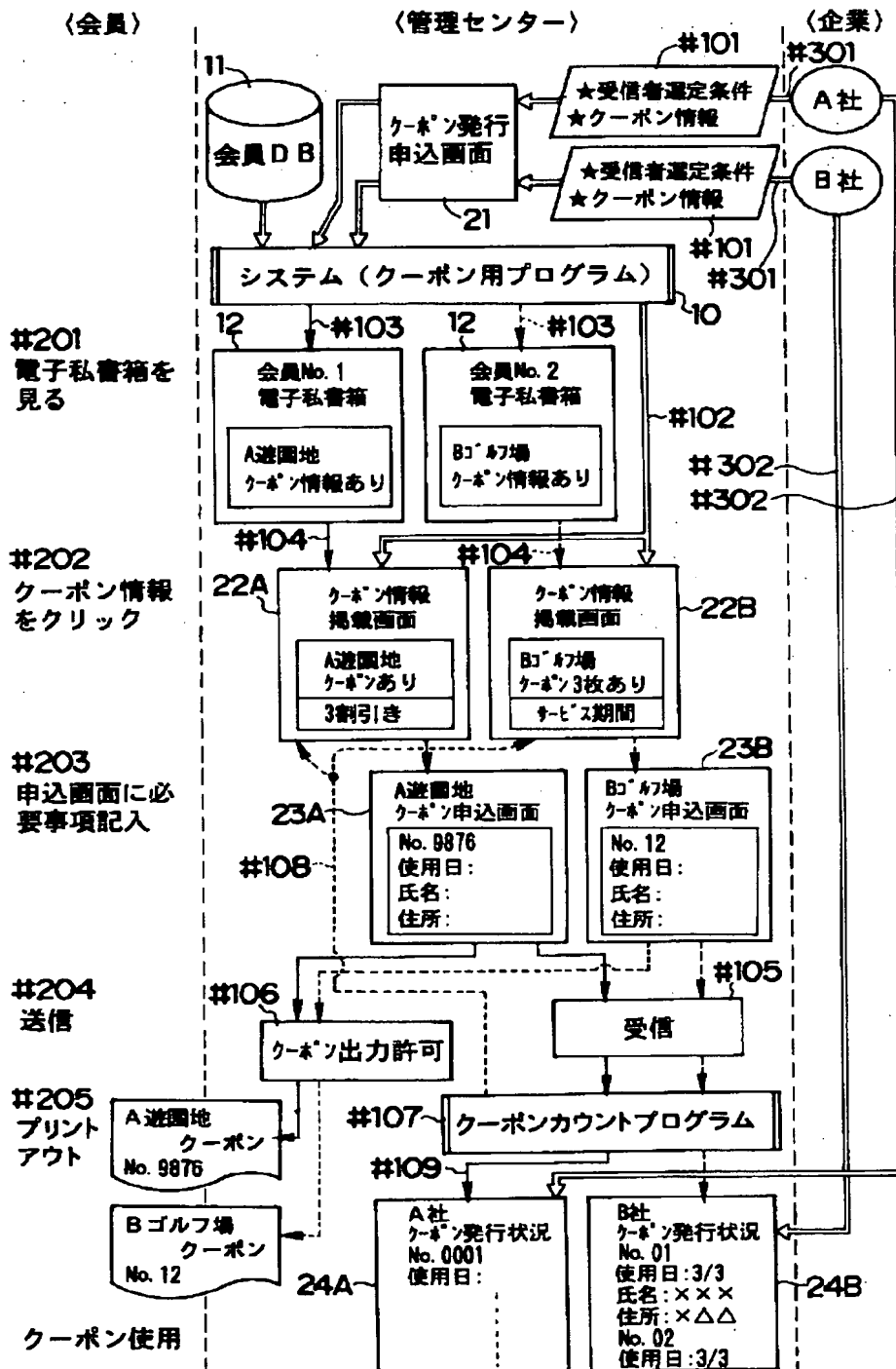
【図2】本実施形態に係るクーポン発行システムが会員として登録を行うときに、その者の種々のデータを入力する画面を示す図である。

【図3】本実施形態に係るクーポン発行システムに使用される電子私書箱12を示す図である。

## 【符号の説明】

- 10 クーポン発行システム
- 11 会員DB
- 12 電子私書箱
- 21 クーポン発行申込画面
- 22 クーポン情報掲載画面
- 23 クーポン申込画面
- 24 クーポン発行状況確認画面

【図1】



【図2】

氏名：姓  名   
 ふりがな：姓  名   
 住所：都道府県  東京都   
 市町村   
 電話番号：   
 E-Mail：   
 職業：  会社員   
 勤務先会社名（学校名）：   
 最終学歴：  大学在

---

運勢占い用情報登録  
 生年月日：19  年  月  日  
 性別：●男性 ●女性  
 出生地：  北海道   
 出生時間：  12時頃   
 血液型：●A型 ●B型 ●AB型 ●O型  
 趣味・嗜好：●保険 ●財テク ●読書 ●AV機器 ●パソコン  
 （複数選択可）●写真 ●外国語 ●資格・教育 ●ペット  
 家族構成：  配偶者

メモリアルデーの登録  
 誕生日の登録：  19  81 年  12 月  27 日  
     
 免許更新日の登録：19  年  月  日  
 結婚記念日の登録：19  年  月  日  
 その他のメモリアルデー：  の  日  
 好きなタレント：●○○△△ ●△△×× ●××○○ ●○×△△

---

【図3】

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

10月15日  
 ○○○○○○さん こんにちは！  
 ●全員へのメッセージ

●あなたへのDM  
 A遊園地クーポンがあります。

●今日のあなたの運勢

●今日のTV Station

●メッセージ

12  
 12a  
 12b  
 12c  
 12d  
 12e